

機器システム部材 セールス & テクニカルニュース

No. 14-004
2014年12月発行

表題	光ファイバケーブル経年劣化に伴う更新のご提案
適用機種	MELSECNET用光ファイバケーブル

平素は 弊社製品に対し格別のご愛顧を賜わり厚く御礼申し上げます。
本資料は、設計上の耐用年数が20年である当社MELSECNET用光ファイバケーブルの経年劣化によるケーブル更新の提案についてご説明いたします。

1. 対象ケーブル

(1) S I ケーブル

シリーズ	発売開始	コード色	コネクタ		備考
			形名	形状	
A型	1985年	橙色	CA9003		生産中止品
AN型	1993年	橙色	CA7003		生産中止品
AQ型	1993年	緑色			生産中止品
AS型	1995年	黄色	DL-72ME		現行品
QH型	2001年	水色			
QL型	2005年	紫色	CA7003	AN・AQ型と同じ	現行品

(2) G I ケーブル

シリーズ	発売開始	コード色	コネクタ		備考
			形名	形状	
A型	1985年	橙色	CA9103		生産中止品
AG型	1993年	水色/黒色			生産中止品
SG型	1998年	黒色	DL6-CP		現行品

2. 光ファイバケーブルの耐用年数

光ファイバケーブルの設計上耐用年数は **20年** です。

ご提案

長期間ご使用されている光ファイバケーブルの場合、経年劣化に伴う伝送損失の増加やケーブル断線による通信不良が発生するおそれがあるため、

定期的な損失測定の実施を推奨いたします。

(当社にて損失測定のご用命を受け賜っております。ご依頼はお買上げの購入店または代理店へお申し付けください。)

また、損失測定の際に前回よりも伝送損失が増加している場合は、

光ファイバケーブル更新のご検討をお願いいたします。

3. 経年劣化の原因

光ファイバケーブルの耐用年数は設計上20年ですが、劣化の度合いはその布設環境や使用状況により大きく変化します。

下記劣化要因をご確認ください。

【ケーブルの劣化要因】

- (1) ケーブル内部への浸水
- (2) 機械的要因 (衝撃、圧縮、屈曲、捻回、引張り、振動等)
- (3) 熱的要因 (低温、高温による物性の低下)
- (4) 化学的要因 (油、薬品による物性低下)
- (5) 紫外線・オゾンや塩分付着 (物性低下)

(1)～(5)の環境下でお使いの場合、光ファイバケーブルの耐用年数がさらに短くなります。

● 商標について

MELSECNET は、三菱電機株式会社の登録商標です。

その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。